

そよ風

庄原赤十字病院
広報誌

vol.89

2023.9月

高度
医療

地域
医療

日本赤十字社

救急

【特集】

認知症のこと ~予防方法と家族のかかわり方~

【TOPICS】

表紙のあの人

学生さん医療現場を体験

補助金で医療機器を整備しました
令和5年度 出前講座 11月
イマの庄原日赤

特集

認知症のこと ~予防方法と家族のかかわり方~

認知症ってどんな病気？

近年、認知症を患っておられる方は増加傾向にあります。その人数は水虫を発症している件数に匹敵するともいわれ、「もっともかかりたくない病気 NO.1」と言われています。

認知症と一言でいっても様々な症状があります。皆さんがよく知っておられる「物忘れ」を筆頭に、日時や場所、人の名前が分からなくなる「見当識障害」。トイレ動作や料理が順番通りにできない「実行機能障害」。ハサミやスプーンの使い方が分からない「失行」。物を認識できない「失認」など。これらは認知症の種類によって症状が出たり、出なかったりしますが、認知症になると誰でも起こりうる症状です。

では、「私の財布がなくなった」という「もの忘れ妄想」や出掛けたきり帰ってこない「徘徊」はなぜ起こるのでしょ？

また、時には薬を飲まない、病院に行かないなどと暴力・暴言・大声をあげられる方もおられます。なぜこんなことが起こるのでしょ？なぜ、このような症状が起こる人と起こらない人がいるのでしょ？

その答えは…「その人の人柄・性格」「生活している環境」「便秘など体の不調」「関わっている人の関わり方」などが要因であると言われてしています。何度も同じことを言われるのでイライラしながら返答すると、相手も嫌な気持ちになります。

今までとは違った環境で生活することになると落ち着かなくなり、「帰りたい」と言われるようになります。体調が悪い時には不機嫌になったり、少しのことが不安で涙が出たり、何度も同じことを聞いたりされます。



もの忘れの場合



記憶の一部が抜け落ちる

記憶
朝ごはん何を
食べたっけ？



アルツハイマー型
認知症の場合



記憶そのものが抜け落ちる

記憶
朝ごはんなんて
食べたっけ？

認知症患者とのかかわり方

このような状況にならないために、認知症の方と関わる時には

- ①驚かせない ②急がせない ③自尊心を傷つけない

の、【3つの「ない」】で関わるのが良いと言われています。

なかなかできることではないですが、認知症の方と関わる前にフーッと一息ついて、相手のペースに合わせて、まず話をゆっくり聞いてみてください。何度も同じことを言われるときには「そうなんですね。」と、物が無いと探されているときは「一緒に探しましょう。」と、寄り添ってみることも大切です。残念ですが、

認知症の方への関わりに答えはありません。昨日はこれで良かったのに今日はだめ。こんなことは日常茶飯事です。だからこそ、一人で抱え込まず、家族や親せき、ケアマネジャーや民生委員、看護師や医師、相談員などみんなで答えを見つけていく、認知症対応の術を探っていくことが必要なのです。

認知症を予防するために

認知症にならないためにできることはないですか？とよく聞かれます。認知症予防としてDHAやEPAが多く含まれている魚をしっかりと食べることをおすすめします。また、高血圧や糖尿病などの病気にかからないことも認知症予防の一つです。持病のある方は、しっかりと治療することがもっとも大切です。

認知症の方への基本姿勢

様々な症状の認知症ですが、接し方の中で、**共通して言えるポイント3つ**
※認知症の人への対応の心得
“3つの「ない」”

- ①驚かせない
- ②急がせない
- ③自尊心を傷つけない

認知症の予防についての考え方

認知症の予防 = 認知症発症のリスクを少なくすること



おすすめ品



DHAやEPAを
多く含む
魚肉ソーセージ

表紙の“あの人”



医療安全推進室
みつこうち けいこ
三河内 敬子

医療安全推進室では、患者様に安全な医療を提供するために、院内で医療安全推進活動を行っています。皆さんはあまり聞き慣れないと思いますが、どこの病院にも設置されています。直接患者様に関わることはないのですが、安心して当院の医療を受けていただけるように組織横断的にサポートしている部署です。

主な仕事は、院内で使用する様々な薬剤や医療機器の安全管理を統括する役割や職員の安全意識を高める役割があります。そのため、院内で提供する医療ケアが患者様に不利益なものにならないように、さまざまな安全対策を行っています。診察前や検査前に患者様に名前を名乗っていただいているのもその一つです。医療安全には患者様の協力が欠かせませんので、今後ご協力をよろしくお願いいたします。



医療安全推進室スタッフ

学生さんに医療現場の体験をしていただきました



庄原日赤では、高校生を中心に医療の現場を体験していただくセミナーを開催しています。この夏、庄原市内や県内の高校生を受け入れて、医療の現場に触れていただきました。



患者さんのケアを見学

8/2 ふれあい看護体験

県北地域の高校生を対象に看護師の仕事を体験していただきました。

さまざまな看護業務の体験を通して未来の自分の姿を思い描き、これからの進路選択に役立てていただけたことと思います。

8/3 高校生医療体験セミナー

医師・看護師・薬剤師・理学療法士など、医療職を目指す広島県内各地の高校生が参加しました。

「地域医療・へき地医療に興味があって、ここ（庄原日赤）の見学会を希望しました。」の一言は、庄原日赤の職員にとって心強い言葉であり、将来を期待させる嬉しい言葉でした。



内視鏡の操作を体験中

▶ 基本理念



庄原赤十字病院は、人道・博愛・奉仕の赤十字精神にのっとり、地域の皆様方の健康・医療・福祉を職員一丸となっておまもりいたします。

▶ 患者さまの権利



患者さまには以下の権利があります。私たち、庄原赤十字病院の職員は、このことを十分尊重した医療に務めます。

- 一、だれもが、良質で安全な医療を平等に受ける権利があります。
- 二、思いやりのある、個人の尊厳が守られる医療を受ける権利があります。
- 三、治療に際し、わかりやすい説明を理解できるまで受け、治療法を選択あるいは拒否する権利があります。
- 四、診断や治療に関して、別の医師の意見を聞く権利（セカンドオピニオン）があります。
- 五、個人のプライバシーが守られる権利があります。
- 六、自分の診療情報の開示を求める権利があります。
- 七、健康に関する指導や情報提供を受ける権利があります。



ハートちゃん



お知らせ

補助金で医療機器を整備しました

事業名：一般社団法人日本損害保険協会の自動車損害賠償責任保険運用益助成金にかかる令和5年度交通災害等救急医療機器整備事業

整備機器：多項目自動血球分析装置
(シスメックス XR-2000)

従来の機器と比べて、貧血や炎症、白血病など血液疾患の指標となる赤血球、白血球、血小板等の大きさや数の分析、ヘモグロビン値、および白血球形態分析（好中球、リンパ球などを分類し比率を算出）などの検査を正確に行うことができます。



令和5年度

出前講座



比和

▶心不全のお話

開催日 令和5年11月9日(木) 13:30~15:00
場所 比和自治振興センター 対象者 一般市民の方
講師 慢性心不全看護認定看護師 外来病棟第一外来業務係長 富吉 めぐみ

総領

▶食べて元気に！～糖尿病食は健康食～

開催日 令和5年11月24日(金) 14:00~15:30
場所 総領保健福祉センター 対象者 一般市民の方
講師 糖尿病療養指導士 医療技術部 栄養課 主任 田中 里実

庄原

▶高血圧・塩分について

開催日 令和5年11月17日(金) 14:00~15:30
場所 庄原市ふれあいセンター 対象者 一般市民の方
講師 医療技術部 栄養課 課長 咽原 和美

高野

▶毎日ちょっと意識して ～今と変わらず、今より元気に～

開催日 令和5年11月29日(水) 13:30~14:30
場所 高野保健福祉センター 対象者 市民の方
講師 医療技術部 栄養課 管理栄養士 重政 光彰

各講座お問い合わせ

- 庄原市保健医療課健康推進 0824-73-1255
- 口和支所 地域振興室 市民生活係 0824-87-2112
- 高野支所 市民生活室 市民生活係 0824-86-2115

- 総領支所 地域振興室 市民生活係 0824-88-3063
- 比和支所 地域振興室 市民生活係 0824-85-3001

お知らせ イマの庄原日赤



令和5年10月現在

▶ご来院される方へ

来院時はマスクを着用していただき、入館前には必ず手指消毒と検温をお願い致します。

また、来院前に、熱・風邪症状、味覚嗅覚異常などがある場合は検温場所
で職員へお声がけください。

お問い合わせ

☎0824-72-3111

▶病棟での面会

新型コロナウイルス感染症に伴い、「面会制限」を行っています。

- ◆原則、家族1回2名とする（中学生以上）
- ◆面会時間は、13時から17時まで（15分以内）
- ◆受付場所は、平日（医事課窓口）／土日祝日（ポプラ前防災センター）

入院中の患者様を感染症からお守りするため、ご理解、ご協力の程よろしくお願い致します。

面会制限

一部制限があります
ご確認ください

